

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援すみれ
------	-----------

公表日

令和7年 3月 27日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	・子どもの様子、状態により小人数のグループに分けたりパーテーションを使用して過ごしやすい環境を作りにしている	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	・子どもの様子、状態により管理者が療育に入る等しながら、丁寧な支援ができるように心掛けている	・職員配置は適正に行っているが、特性の強いお子さんの多い日等は、対応に難しさを感じる時がある。安心安全に療育できる環境を作るにはどうすればよいか、何が工夫できるか話し合っていく
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	・鍵やスイッチ等が子どもの手の届く位置に設置してあるため、カバーを付ける等の対策をしながら支援している ・状況に応じてパーテーションを用いたり、視覚支援や構造化を行い、刺激が少ない環境作りに配慮している	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	・棚の上には物を置かないようにして刺激を減らし、過ごしやすい環境作りを心がけている	・毎日きちんと清掃を行っている
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	・クールダウンが必要な際は使用していないお部屋やおゆうぎ室を使用してクールダウンを行っている ・部屋では必要に応じてパーテーションを使用し、個別の場所を確保するように工夫している	・クールダウンをしたい時に静かなお部屋、空間を確保したいが、時間によっては確保できない時がある ・個別の対応が重なると難しい時がある
	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・年に1回必ず行っており評価をもとに改善を図るようにしている	・毎年事業所評価や、アンケートの中でいただいた貴重なご意見を、来年度の取り組みに生かすようにしている。全職員の意見を取り入れられるように評価をもとに話し合いの場を設けていく

業務改善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・保護者同士の話し合いの場(座談会)の場を設けたいという職員の意見があり、今年度親子療育の中に取り入れた	・月に2回会議を設け、話し合いの中で業務改善に努めているが不十分だと思われる。今までのやり方にとらわれず色々な意見を出し合いながら業務改善に努めていく
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2 (未回答2)		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	年に数回、全職員を対象にした研修を行っている。今年度は「ハラスメント」「メンタルヘルス」の研修を行った	・フルタイム職員は研修に参加しやすいが、パート職員は勤務時間の関係で参加が難しい時がある。時間が取れる時にzoomの研修に参加してもらう等、全職員が色々な研修に参加しながら職員の資質向上を図る
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0		・今年度作成。ホームページに掲載している。継続利用の方には面談時、新規利用の方には契約の際等に説明していく
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	7	0	・個別支援計画作成ごとに面談を行い、アセスメントを取りながら個別支援計画を作成している	
	13	個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・児童発達支援管理責任者だけでなく支援員も一緒に目標や支援内容を考えている ・毎月の職員会議の際に、児童発達支援管理責任者も含め支援員と支援方法等について話し合いの場を設けている	
	14	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	・週末に1週間の振り返りを行うが、その時に個別支援計画に沿った支援ができていないか確認できていて良い	・計画に沿った支援を行いたいと心かけているが、難しいときもある
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1 (未回答2)		
	16	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		

の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	2	・勤務時間等の関係で主にフルタイム職員が作成し、後でパート職員が確認し、内容の訂正や変更を行っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	・常に固定化しないように工夫している	・固定化しないように心がけているがまだ工夫ができるため取り組んでいく
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	1	・小集団療育がメインだが子どもの様子に合わせて個別療育も行っている	・個別療育は全員が行えていない。必要に応じて個別療育を行える時間を設けていく
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・毎朝朝礼時に打ち合わせを行っている ・職員同士で話し合う時間を多く設けるようにしている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	・個人の「療育経過記録」を見ながら子どもの様子を把握共有するようにしている	・各々勤務時間が違うためその日のうちに反省や振り返りを行うことが難しい時もある ・週末に1週間の振り返りを行っているが、できれば毎日行いたい
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・改善した方が良い点等はより詳しく記録に残すようにしている	
	23	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	・いつもと違った様子が見られた時等に保育園と情報共有したり、リハビリ（OT・ST）の時に気になることを保護者に説明し、確認してもらう等している	・保育園等と連携を図り、より子どもに合った支援を行うようにしている 今後も継続していく
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなどインクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	・こども園、幼稚園、支援学校等と連携を図り、情報共有を行うようにしている	・就学時は支援情報提供書の作成や、サービス担当者会議（移行支援会議）に同席しながら、引き継ぎ就学に向けて情報共有を行っている
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0		
		(28は、事業所のみ回答)				

の 連 携	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	0		
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	2	・園庭遊びの時に同じ園庭で一緒に遊ぶような機会を設けるようにしている	
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4 (未回答1)	・ペアレント・トレーニングは未実施だが、職員全員ペアレント・トレーニングの考え方のもと支援している	・保護者が参加できるような研修等を考えていきたい
保 護 者 へ の 説 明 等	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	・契約時に時間をかけて説明を行っている	
	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・面談を行い、アセスメントを取りながら保護者の意向をきちんと伺い、個別支援計画に反映させるようにしている	
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか。	7	0	・個別支援計画を示しながら支援内容の説明を行い保護者から同意を得るようにしている	
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4 (未回答1)		・父母の会、保護者会の設置はない。設置の検討に関しては会の設置に対しニーズがあるかどうかを把握してから進めていく ・今年度親子療育のみ座談会を行った。来年度はテーマを決めて、全利用者(希望する方)を対象に保護者同士が交流できる場所を設けていきたい
	37	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		

	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・毎月すみれだよりを発行し療育目標等を公表している	
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	40	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2		・地域交流は毎年の課題だと感じている。ふれあいカーニバルが唯一の参加機会になっている
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	・色々な緊急事態に対応したマニュアルを作成し、訓練するようにしている	
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	・BCPを作成すると共に、定期的に訓練を行っている	・毎月併設されている愛慈子ども園と合同の避難訓練、不審者対応訓練を行っており、今年度は、毎月すみれだけの避難訓練、防災訓練も実施することができた。来年度は更に改善を図り、防災意識や取り組みを深めていく
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	・契約時に把握しており、薬の内容や量に変更があった場合はご家族からおくすりの説明書のコピーを頂き、薬の内容や副作用、対応で気をつける点等をご家族から引き継ぐようにしている	
	45	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	・契約時に細かく聞き取りを行い、アレルギーがある場合には、愛慈子ども園の栄養士が相談に乗りながら安全に給食が食べれるように配慮している	
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		

47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・ヒヤリハットを共有し、再発防止に取り組んでいる	・ヒヤリハットの共有方法を改善していく。職員全員が共有しやすいような方法を考える(ボードに貼る、職員連絡ノートに貼る等)
49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・どんなに小さな出来事でも「これは不適切保育や虐待になるのではないか」と感じたことはすぐ相談し合いながらチームで支援するようにしている	・虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会を設置し、不適切保育や虐待に繋がる前に未然に防いでいくためにどうすればいいかを話し合機会(ケース検討)を引き続き継続していく
50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	6	1		・今まで身体拘束に該当する子どもがいなかったが、今後万が一対応が必要なお子さんがでてきた場合は、ご家族ときちんと面談を行い同意書をいただいた上で行う。また毎年必ず年度初めに全職員に身体拘束の定義や行うことになった場合の手順について周知、徹底していく

事業所名	児童発達支援すみれ
------	-----------

公表日 R7年 3月 27日

利用児
童数 21人

回収数 18人

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ		わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	いいえ			
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	1	0	0	・走ったりできるスペースがあるため 良いと思います	・安全に過ごせる環境やスペースを 提供していきます
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	18	0	0	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	0	0	1	・本棚等は目隠しされていたり、机も 活動によって変えたりしているため 良いと思います	・落ち着いて安心して過ごせるように できるだけ刺激を少なくした環境作 りに努めていきます
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18	0	0	0	・いつも清潔で、暖かくして頂きあ りがとうございます ・いつもきれいで、清潔感があって 良いと思います	・毎日清掃や消毒を行い、安心安全に 心地よく過ごせる環境作りに努めて いきます
適切 な支 援の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18	0	0	0	・保護者の話を、とてもよく聞いて くれています	・個別支援計画作成の際は面談を行い 保護者のニーズやお子さんの課題を 明確にし、丁寧にアセスメントを取 りながら計画を作成していきます
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18	0	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	1	0	0		
11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	13	3	1	1	利用日が週1回のため、他の曜日のご とが分かりませんが、殆ど交流はない のではと思っています	・園庭で遊ぶ際は愛慈こども園のお子 さんと一緒に遊んでいます。保育所 等に通っていないお子さんに関して は、今後愛慈こども園の活動や行事 に参加する機会を設けることも検討 していきたいと思っています	

保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	0	0	0	・見学や契約時にきちんと説明するようにしています	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	0	0	0	・ご家族に支援目的や、支援方法が伝わるように丁寧に説明していきたいと思います	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	1	1	1		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	17	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳や送迎の際に、都度伝え合っています ・毎日とても丁寧に、今日の活動の様子やその時の本人の発言を含め一緒に成長を喜び合えることに感謝しています 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方より、連絡帳や口頭で丁寧にご家庭や保育所等での様子を教えていただき感謝しています ・今日1日何をしたのか、どういう様子(成長)が見られたのかを丁寧に伝えながら、お子さんの成長や今後の課題を共有していきたいと思います
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・気になる部分や相談したいことがあった時に、とても忙しい中でも話を聞いて頂いて助かりました ・親自身が悩んだり、葛藤したりすることが以前に比べて減ったように思います ・困ったことがあった時は、すぐに話を聞いて頂ける体制が整っているため、本当に助かっています ・どの先生もいつも笑顔で接して下さりすごく心の支えになってます。ありがとうございます 	<ul style="list-style-type: none"> ・温かいお言葉ありがとうございます ・お子さんのこと、保護者の方のこと。何かありましたらいつでも遠慮なくご相談下さい。 ・お父さん、お母さん、お子さんが笑顔で過ごせるように、これからも一緒に考えていきたいと思っています
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等によりきょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	3	2	3		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	0	0	1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・本人に「今日は何をしたの？」と聞いても、詳しく話してくれない時もあるためお迎えの時や連絡帳で丁寧に様子を教えて頂いていて助かっています ・今年から療育参観が、年1回から年2回に増え、子どもを見れる機会を増やしてくれてよかったです 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も丁寧に様子をお伝えしたり情報共有を図っていきます ・療育参観に関しては、昨年度の事業所アンケートで「年2回にしてほしい」というご要望を頂き、今年から2回に増やして行うことにしました ・今後もご家族のご意見、ご要望を大切にしていきたいと思っています
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14	0	0	4		・毎月すみれだよりを発行し、日々の療育の様子や、お知らせをお伝えするようにしています
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	0	0	0			

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月併設の愛慈子ども園と合同の避難訓練、不審者対応訓練を行っています。すみれ独自の避難訓練、防災訓練も行っていきます
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月併設の愛慈子ども園と合同の避難訓練、不審者対応訓練を行っています。すみれ独自の避難訓練、防災訓練も行っていきます
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	0	0	0	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・通っていてそういった場面や怪我をしたことがないため分かりません <ul style="list-style-type: none"> ・事故、怪我のないよう努めて参りますが、万が一起こってしまった場合にはご家族の方に丁寧に説明し、今後の対策について早急に検討しご報告していきたいと思えます
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	18	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・通い始めてから一度も本人が「行きたくない」と言ったことがありません ・お友達と遊んだり、先生に甘えたり。何よりいつもニコニコな笑顔を見せてくれるため、それが答えだと思います ・安心してすみれさんに通うのを楽しんでいます ・とても楽しみに療育に通っています <ul style="list-style-type: none"> ・温かいお言葉ありがとうございます ・今後もご家族、お子さんに安心して楽しく通って来ていただけるよう職員一同がんばってまいります
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	18	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・㊟番と同様。子どもは楽しくのびのびと過ごしているようです ・朝コートとリュックを見せると母の手を取り「早く行きたい！」と伝えてくれます ・毎回楽しそうに活動している姿が見られます。本人も喜んで通っています ・安心して通うのを楽しんでいます <ul style="list-style-type: none"> ・温かいお言葉ありがとうございます ・お子さん一人ひとりの長所を伸ばしながら「楽しい。分かった。うれしい」と感じてもらえるような活動を提供し楽しく通って来てもらえるよう努力していきたいと思えます
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して通わせることができ、何かあればすぐに相談することができているため本当に感謝しています ・子どもはもちろん、親の相談にまで乗って頂き、いつもとても感謝しています ・先生方の子どもを見る目が優しくてかわいがってくれているのが伝わりいつも嬉しく思っています ・様々な活動で褒められたり、励まされたりしながら、本人が意欲を持って過ごせているのでありがたいです ・本当にすみれさんには感謝しかありません。すみれさんに繋がれたことが本当によかったなあと思えます <ul style="list-style-type: none"> ・温かいお言葉ありがとうございます ・職員一人ひとりが資質向上、支援の質の向上を図り、チームアプローチで支援していきたいと思えます ・職員一同、いつも保護者の皆さんお子さんから学ばせていただき、元気をいただき、本当に感謝しております ・今後も保護者の方や、関係機関と連携を図りながら、親子で安心して楽しく通える事業所作りを目指していきます

○事業所名	児童発達支援すみれ		
○保護者評価実施期間	R7年 2月 3日	～	R7年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 21名	(回答者数)	18名
○従業者評価実施期間	R7年 2月 3日	～	R7年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 15日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さん、ご家族のご希望にあった利用時間で利用することができる。小集団の療育を通し生活面の身辺自立(身支度、排泄、食事等)や社会性、コミュニケーション等、スモールステップで成功体験を積み重ねることができる	できないことに目を向けるのではなく、今既にできていること、少しでもがんばろうとしていることを褒め、認め、子ども自身が自信を持ちながら小集団の療育の中でできたことを、集団の中でもできる力に繋げていけるよう支援している	保育所、幼稚園、こども園等連携や、他事業所(児童発達支援を併用している方)との連携の強化を図りたい。相談支援専門員と一緒に園訪問をする機会を増やしたり、園の先生方にも当事業所を見に来ていただき、更に情報共有を図っていく
2	週1回、親子療育を実施している。親子の信頼関係を深め、人に対する興味、共感の心を育てられるよう支援している。また日常生活の自立に向けた支援や、身体機能の発達支援を行い、保護者の気持ちに寄り添い、親子で楽しく通える場を目指している	定期的に保護者合同土が話し合える時間を設けている。保護者の方が気軽に相談できたり、お子さんと楽しく活動に参加しながら、親子で「居心地がいい」と感じられる場所を提供できるよう努力している	保護者同士が本音で話し合えるような環境を作っていく(ネガティブな感情も自由に吐き出せる)。ありのままの感情を遠慮せずに表現できる等)保護者やお子さんの負担にならないような活動内容を、工夫しながら提案していく
3	送迎サービスを実施しておらず、保護者の方に送迎のご負担をかけてしまっているが、その分朝は直接顔を合わせながら引き継ぎができたり、帰りは実際に活動で使用したものを見せながら、丁寧に様子をお伝えすることができる	日々、些細な会話の中から、一緒に成長を喜んだり悩みをお聞きし、一緒に対応方法を考えることができる。直接顔を合わせながら、お互いに身近に感じながら、いつでも安心して話ができる雰囲気や環境を作れるよう努力している	送迎がご家族のご理解、ご協力のもとで行って頂けていることを常に忘れず、ご家族にできるだけ負担を感じさせることのないよう配慮していく。また今後、ご希望を伺いながら保護者支援(育児講座)等も検討していきたい

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	言語聴覚士、作業療法士等専門性のある職員の不足	人材確保が難しい。特に言語療法が必要と感じるお子さんには病院等の言語療法をご紹介するケースもある。実際利用している方からは、どんなことを取り組んでいるか聞いたり、事業所でもできそうなことは、療育に取り入れるようにしている	法人の、他施設に勤務している言語療法士等に助言をもらったり、職員向けに研修をして頂く等の取り組みを今後検討していく
2	地域交流の場が少ない	希望者は年1回、法人のイベント(ふれあいカーニバル)で地域の方と交流する機会がある。それ以外では、併設されている、愛慈こどもの子どもたちと園庭で一緒に遊んだり、近隣の公園や散歩に行く程度で、地域交流の場が少ない	特に保育所、幼稚園、こども園等を併用せず週5日事業所に通って来ているお子さんに関しては、愛慈こども園の活動や行事に参加する等を今後検討していく
3	送迎サービスがない	保護者の方に送迎をお願いしているため、直接お話できることのメリットはたくさんあるが、近年お仕事をされているお母さんが多く、「すみれを利用したいが送迎ができないから難しい」というお声を頂くことが多くなった	送迎のニーズをしっかりと把握し、送迎をすることのメリット、デメリットをしっかりと検証しながら職員間でよく話し合い検討していく